

お客様へ

- 施工は必ず専門業者へ依頼してください。
- 本取扱説明書は、大切に保管しておいてください。
- ご不明な点は、巻末に記載されている営業窓口へお問い合わせください。

施工業者様へ

- 施工前に本取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 本取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

1.はじめにお読みください(正しく安全に使用いただくために)

本製品は、防火区画貫通部耐火措置工法部材です。それ以外の用途には使用しないでください。
この製品は耐火キャップ IRC-NX 専用です。必ず耐火キャップ IRC-NX と組み合わせて使用してください。

■表示内容を無視して誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分しています。

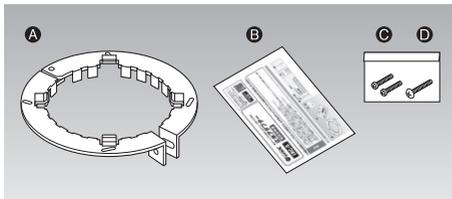
 警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性があります。
 注意	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性があります。

■お使いになる人や他の人へ危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

 警告	国土交通大臣認定書の仕様に基づき正しく施工してください。 正しい施工を行わないと火災時に延焼のおそれがあります。 国土交通大臣認定書については、右記のQRを確認してください。	
 注意	作業時は、作業用手袋などを着用してください。	国土交通大臣認定書

お願い	<p>※下記が守られなかった場合、製品の想定する機能・性能が発揮されない可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 右記のQRより適用範囲概要を確認してください。 ● サイズ選定の際には占積率および金具最小内径を共に満たすことを確認してください。 ● アダプターは、アダプター内径以下の配管に対して必ず使用してください。 ● 区画貫通部では配管などが動かないように近傍でしっかりと固定してください。 ● 不十分な場合はパテにすき間が生じたり、パテが落下する可能性があり、耐火性能を発揮できません。とくに縦引きの冷媒管の場合は、配管長の中央部に「パイロロックTK」を使用して配管を支持してください。 ● 屋外で使用する場合は、紫外線、雨水などが当たらないように処置を施してください。 ● 合成スラブ貫通部に使用する場合は、所轄官公庁へ相談してください。 	
		適用範囲概要

2.仕様

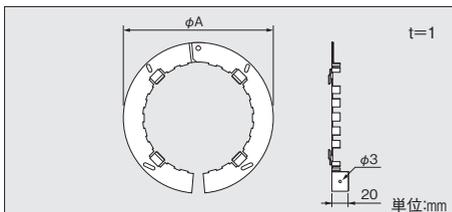


■セット内容

記号	部品名	材質	数量
A	止水アダプター	SGCC	1
B	取扱説明書	-	1
C	なべタッピングビス M4×25L	ユニクロ	2
D	トラスタッピングビス M4×30L	ユニクロ	1

■寸法表

型番	適合止水スリーブ外径 (mm)	寸法 (mm)	
		φA	t
IRC-S75	81 ~ 86	129	1
IRC-S100	101 ~ 106	154	1
IRC-S125	126 ~ 131	179	1
IRC-S150	151 ~ 156	204	1



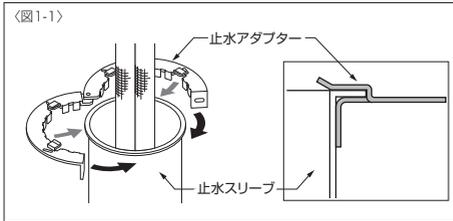
3. 止水スリーブの施工（床施工）

0. 配管を施工・固定します。

1. 止水アダプターを止水スリーブに設置します。

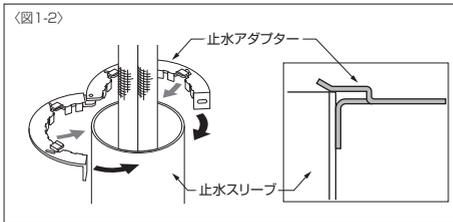
a. ツバ付き止水スリーブの場合

止水アダプターのツメをツバ部分に差し込むように取り付けます。〈図1-1〉



b. ツバ無し止水スリーブの場合

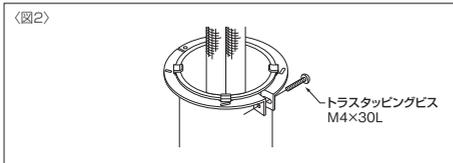
止水アダプターのツメを管端に載せます。〈図1-2〉



2. ねじを締めて止水アダプターを固定します。

付属のトラスタッピングビスで止水スリーブを固定します。

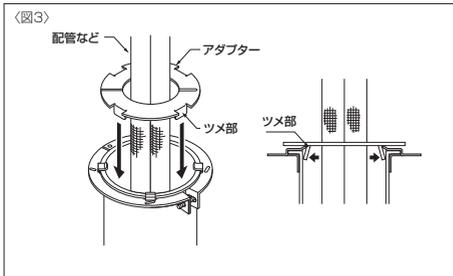
- ① 長穴側から取り付けてください。
- ② ビスが飛び出ますのでご注意ください。



3. アダプターの取り付け

配管がアダプター内径よりも小さい場合は、パテ落下防止のため、必ず、貫通穴にアダプターを挿入し、取り付けてください。〈図3〉

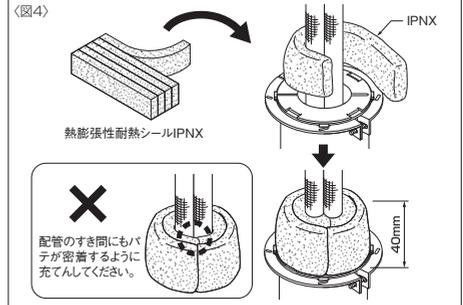
- ① 貫通穴内面にアダプターのツメが当たるように手で押し曲げて固定してください。



4. 配管へのパテ巻き付け

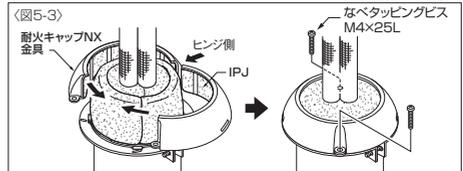
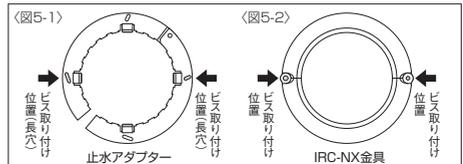
配管に対して付属の熱膨張性耐熱シールIPNXを図のように底面から高さ40mmになるように最大適合貫通穴径まで1周以上巻き付けて、盛り付けておきます。〈図4〉

- ① 配管のすき間にもパテが密着するように注意して、充て込んでください。



5. 金具の取り付け

止水アダプターにある、金具取り付け用長穴（2箇所・〈図5-1〉矢印部分）と耐火キャップNX金具の取り付け用穴（〈図5-2〉矢印部分）を合わせて金具を設置し、付属のなベタタッピングビスで固定します。〈図5-3〉



- ① ビス止めを金具のヒンジ側から行えば（反対側の穴は少し大きい）ため）取り付けやすくなります。
- ② 金具を取り付ける前に付属のパテ（耐熱シール材IPJ・象牙色）が金具にきちんと収まっているか確認して袋に入った状態で取り付けてください。
- ③ 耐熱シール材IPJを固定している金具（脚）の角度は0°（垂直）～フタ金具側へ傾斜しています。
- ④ 最大配管で施工する場合は配管と金具が接近しますので、その部分のパテ厚を調整してから金具を取り付けてください。

6. 仕上げ

残りの熱膨張性耐熱シールIPNXを全て金具内部に充てんし、金具に面一になるように仕上げて完成です。〈図6〉

- ① 配管周囲を（上から）押し過ぎると、IPNXが下側にはみ出して落下するおそれがありますので、金具内部へ押し広げる要領でIPJパテ袋に密着するように仕上げてください。
- ② 金具のヒンジ部と開口端部はパテが入りにくいで手でしっかりと充て込んでください。
- ③ 床下からも仕上げれば、より確実です。
- ④ IPNXが不足する場合には、別売の熱膨張性耐熱シールIPNXを別途購入ください。

